



平成 19 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 東和メックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田口光洋
(コード番号 6775 東証第 2 部)
問合せ先 管理部長 佐藤武雄
(TEL . 03 - 5684 - 2321)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 10 日に公表しました平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

・業績予想の修正

1. 平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 10 日発表)	7,500	80	10
今 回 修 正 予 想 (B)	7,000	380	720
増 減 額 (B - A)	500	300	730
増 減 率 (%)	6.7%	%	%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	7,683	96	58

2. 平成 19 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 11 月 10 日発表)	5,900	160	50
今 回 修 正 予 想 (B)	5,400	370	610
増 減 額 (B - A)	500	210	660
増 減 率 (%)	8.5%	%	%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	6,484	65	51

3. 修正の理由

売上につきましては、広告機器が複数の新商品の投入など商品戦略を強化するものの、価格競争激化により引続き大幅減収が見込まれ、ECR につきましても海外向けが依然価格競争が厳しく減収が見込まれます。利益につきましては、国内販売代理店の自己破産に伴う貸倒引当金繰入（45 百万円）の計上、長期在庫処分による粗利益減などが経常利益減少の要因になります。

また、下期において当社の元仏国販売代理店「VECTRON SYSTEMS FRANCE」から当社が行った代理店契約打ち切りを不当としての損害賠償請求引当金（80 百万円）、棚卸資産廃棄損（30 百万円）また、子会社株式の評価損（180 百万円）等の特別損失計上があり、当期純利益は予想を大幅に下回る見通しであります。

* 上記記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上